

令和2年3月18日

保護者の皆様

令和元年度 学校評価について

県立串木野養護学校
校長 迫田博幸

早春の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、2学期末に実施しました学校評価において、今後の改善につながる貴重な御意見や励ましをいただき、ありがとうございました。その結果について御報告します。

今年度の重点課題は、「相手を思いやり、優しい言葉遣いや関わり方で、笑顔いっぱいの学校にしよう」として係・学部を中心に全職員で取り組みました。その結果、保護者の皆様の評価では「言葉遣いがとても丁寧」、「丁寧な対応に感謝」、「先生方の優しさを感じる。」などの御意見をいただきました。職員の自己評価では「友達同士の関わりが増え、困っている友達に優しく言葉を掛けたり、手伝ったりする場面が多くなってきた。」ことや「自分から挨拶したり友達と仲良く笑顔で活動できたりした。」などの評価があり、一定の成果をあげることができました。その一方で「生徒を呼び捨てにしていた」ことや指導する際の言葉遣い等に課題がありました。今後も不十分なところの改善に向けて取組を続けていきます。

裏面に保護者への学校評価アンケートを評価項目、評価内容ごとにグラフ化してまとめておりますので御確認ください。

また、保護者の方々からの御意見や御要望もありました。その中から学校の取組等、以下に記載しましたので併せて御覧ください。

<進路指導について>

進路指導についての評価（項目6）は「0：わからない、判断しにくい」の回答が学校全体では16%、小学部だけでは33%になっていました。「4：そう思う」「3：ややそう思う」の割合が小：63%、中：79%、高：80%と学部が上がるごとに上昇していることから、各学部の発達段階や実態等で、進路に関する見通しや関心に差があるのではないかと考えられます。引き続き情報を発信していくと同時に、学級・学部PTAや個人面談等の機会を捉えて、保護者の御不明な点や御心配な点などを聞き取り、解決策や情報等を進路係と連携して提供していきます。

<PTA活動の期日、内容、回数等について>

PTA活動については、現在PTA総務部を中心に、役員構成や地区PTAの運営方法等を検討しているところです。いただきました御意見を参考に、今後もPTA部会、学部のPTA行事等は可能な範囲で精選及び日程調整していきます。PTA総会資料、あるいは学部・学級のお便り等で主な行事についてお知らせしますので、期日・曜日を御確認ください。

<施設・設備等の改善について>

本校は開校して47年目となり、施設・設備の老朽化への対応が必要となっております。そのため学校としても毎年、維持・改善に向けた要望等を関係機関に出しております。今年度も予算化され、洋式トイレへの改修や建物の補修、塗装等の改善がなされました。現在体育館下のプレイルームの改修も進行し、来年度からは使用可能となる予定です。

今後も引き続き予算要求し、改善に向けて努力してまいりますので、御理解・御協力をよろしくお願い申し上げます。お気づきのことがありましたら担任を通じて連絡してください。

<その他>

夏場の水分補給について、職員の言葉遣いや態度、指導方法等で御指摘いただきましたことは全職員にその内容を知らせ、配慮すべきことについて指導及び共通理解をしました。貴重な御意見ありがとうございました。

今後もお気づきの点がありましたら本校職員にお知らせください。